

人ニシテ昨年度ニ比スレバ十九人ヲ減セリ

生徒中學術品行共ニ優等ナルモノヲ撰ヒ明治廿六年九月ヨリ向一學年間に授業料ヲ免除シ特待生ヲ命シタルモノ十七人アリ

生徒中最モ勤勉ナルモノヲ撰ヒ之ヲ表彰セン為メ卒業証書授與式

場ニ於テ精勤証書ヲ與ヘタルモノ三十九名アリテ前年度ニ比スルニ三十名ノ多キヲ見ルハ喜フベキ現象ナリトス

實業學校教員養成規定ニ依リテ生徒ニ學資ヲ補給セラル、ハ昨年度ノ如ク計五人アリ明治三十七年七月卒業スヘキ生徒ヲシテ實地

ニ就キテ研究修學セシムル為メ三十六年九月末ヨリ十月初旬ニ至ル迄十七日ヲ以テ囑託教員一人ヲシテ生徒ヲ引率セシメ

京都奈良ニ出張ヲ命シタルコト前年ニ同シ

本校生徒ハ皆自費通學ナルヲ以テ寄宿生ニ関スル事項ノ申報スベキモノナシ

將來施設上必要ト認ムル件

本項ニ於テ申請スルモノハ兩三年来開陳シテ御詮考ヲ須ツモノナレドモ留學生ノ毎年一二名ヲ派遣セラル、ノ外末々實施セラレズ

甚遺憾トスル處ナリ 速ニ施設セラレンコト切望ニ堪ヘサルナリ

其要領ヲ記セバ左ノ如シ

〔以下、外国留學生派遣、外国人教師招聘、建築科新設、製版科新設、

図書館・奈良研究所・生徒成績品陳列室の新設、校舎改築、講義室増築、雨天体操場新設、教授・助教補充、図書標本費・學生費増額等の諸要

請については明治三十五年度の報告とほぼ同文であるため省略。〕

雑件

生徒ノ實驗ノ資ニ供スル為メ諸向ノ依囑ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノ、中重ナルモノヲ舉クレバ左ノ如シ

依囑製作品一覽

品名	數量	受託年度	竣工未竣工	依託者
日比谷公園鶴噴水器	一	前年度	竣工	東京市役所水道部
鑄銅虎置場	一	同	同	福岡縣三池炭鑛
日比谷公園アーク電燈柱	一〇	同	同	黑田恒馬
住吉神社扁額	一	同	同	東京市役所
鑄銅ライオン置物	一	同	同	北海道小樽
鑄鐵アーク燈柱	一	同	同	早見彌吉
収税官吏制服圖按	二	同	同	仙波太郎
揭示場圖按	二	同	同	東京電燈會社
石膏製人物	五	同	同	東京稅務監督局
第五回内國勸業博覽會賞牌	一〇	同	同	日本勸業銀行
木製畫帖形八曲小屏風	一	同	同	京都高等工藝學校
		前々未竣工		第五回内國博覽會事務局
		本年度同		日本銀行

解説

1 内規等の改正（各科授業要旨の改正）

内規に属する「各科授業要旨」（187頁参照）にはこの明治三十六年に改正が加えられ、日本画科と西洋画科の分が大幅に修正されて次のようになった。

日本畫科

日本畫科ノ教室ハ五アリテ毛筆畫ヲ教フ 其授業ヲ分チテ模寫、臨畫、寫生、新按、圖按ノ五トナシ別ニ郊外寫生ヲナサシム 特ニ課スル學科ヲ用器畫法及美術解剖トス

模寫及臨畫ハ本校教授ノ畫キタルモノ及古來名家ノ筆蹟ニ係ルモノノ簡易ナルモノヨリ漸次複雑ナルモノニ移リ主トシテ其着想並ニ運筆ノ法ヲ修得セシム 豫備ノ課程ヨリ本科四年マデ之ヲ課ス

寫生ハ初メ草木花實ヲ以テシ次デ蟲魚禽獸ヲ教室ニ致シ或ハ動物園ニ就キテ之ヲ寫サシム 其技ノ漸ク熟スルニ及ビ生人もでるニ及ボシ本邦古來ノ甲冑ヲ著セシメ或ハ裝束ヲ爲サシメ若クハ當世ノ服裝ヲ寫サシメ以テ有職故實ノ實作ト傳彩配色ノ手法ト物象ヲ正確ニ描寫スル法トヲ教フ 是亦豫備ノ課程ヨリ本科四年マデ之ヲ課シ又別ニ物象ヲ正確ニ描寫スル練習ノ爲ニ一學年間毛筆畫時間ヲ割キテ木炭畫ヲ修メシム

新按ハ既ニ學修シタル模寫臨畫及寫生ノ力ヲ應用シ課題ニ依リテ各自ノ意匠ヲ須キ新作セシムルモノニシテ本科第一年ヨリ第四年マデ之ヲ課ス 殊ニ第四年ニ於テハ主トシテ力ヲ新按ニ注ガシメ其間ニ於テ模寫、臨畫、寫生ヲ課シ又卒業製作ヲナサシム

圖按ハ草木菓實ノ簡易ナルモノヨリ漸次複雑ナルモノニ及ボシ繪畫ノ力ヲ應用シテ模様器物ノ圖按ヲ作ラシム 第一年ヨリ第三年マデ之ヲ課ス 校外寫生ハ教員ニ於テ其日ト場所ヲ撰ビテ生徒ヲ引率シ又ハ隨意ニ生徒ヲシテ隨處ニ其風景ヲ寫生セシメ成績ヲ徵ス

西洋畫科

西洋畫科ハ分チテ五教室トシ主トシテ木炭畫、油畫ヲ教授シ又鉛筆畫水彩畫ヲ併セ授ク 而シテ特ニ課スル學科ヲ用器畫法、美術解剖トス

第一教室ハ西洋畫豫備之課程生徒、同第一年、其他彫刻科、鍍金科、鑄金科ニ入ルベキ豫備之課程生徒ヲ收容シ木炭畫ノ描法ヲ授クル所ナリ

而シテ豫備之課程ニ於テハ生徒技能ノ程度ニ應シ木炭ヲ以テ標本ノ臨寫石膏像ノ寫生等ヲナサシメ第一年ニ至リテハ石膏像寫生ニ加フルニ人體寫生ヲ以テシ又鉛筆、水繪具、油繪具ニテ靜物、風景ヲ畫カシム

第二、第三、第四、第五ノ教室ハ西洋畫科第二年、第三年、第四年及研究科生徒ヲ收容シ木炭、油繪具ヲ以テ人體ノ寫生ヲナサシム 而シテ學年ノ進ムニ從ヒ漸次木炭畫ノ學習時數ヲ減ジ加フルニ油繪ヲ以テス 要スルニ木炭畫ノ目的ハ形骸ヲ正確ニ描寫スルニ在リテ油畫ノ階梯タルニ過ギザレバナリ 又別ニ第二年ニ於テハ鉛筆ヲ以テ人物姿勢ノ速寫ヲナサシメ水繪具、油繪具ヲ以テ靜物及風景ヲ寫生セシム 第三年ニ於テハ前學年ニ同ジク鉛筆畫、人物姿勢速寫ヲ授ケ普通ノ靜物寫生ニ代フルニ被服ノ模様、皺襞ノ寫生ヲ以テス 而シテ風景寫生ニハ油繪具ノミヲ使用セシメ時々風俗、歴史ノ課題ニヨリテ水繪具、油繪具ヲ以テ構圖ヲナサシム 第四年ニ於テハ木炭、水繪具ニテ器物、花卉、人物ヲ寫生セシメコレニ據リテ更ニ裝飾的構圖ヲナサシメ以テ前學年ノ被服寫生ニ代フ 鉛筆畫人物姿勢速寫、油繪風景、課題風俗歴史畫ハ前學年ニ同ジ 以上ノ各學年ニ於テハ既ニ學習シタル課目ニ對シ一學年間ニ三回ノ競技ヲ施行シ技能ノ優劣ヲ判定ス

このほかに彫刻科の分の「塑土(原名プラスチック)」の箇所が「塑土」のみとなり、漆工科の学科に「蒔絵製作法」が追加された。

『東京美術学校校友会月報』記事抜粋

東京美術学校近事(一)一七。M・三六・一・三一

○前號掲載後に於ける職員ノ動靜左ノ如シ。